

**AIRTIGHT COSMETIC CONTAINER**

Publication number: JP10304927

Publication date: 1998-11-17

Inventor: YUZUHARA YUKITOMO

Applicant: YOSHIDA KOGYO KK

Classification:

- International: A45D33/00; A45D33/00; (IPC1-7): A45D33/00;  
A45D33/00

- European:

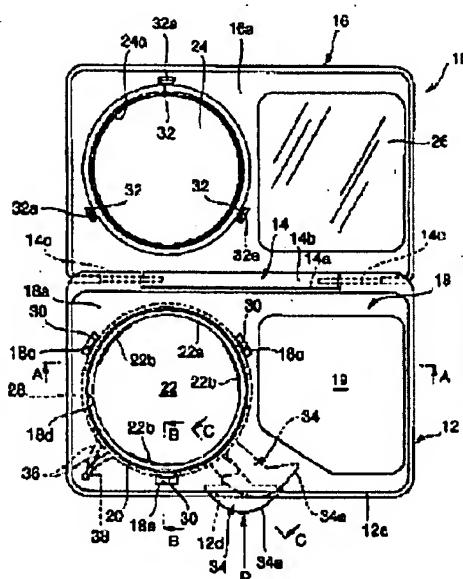
Application number: JP19970119859; 19970509

Priority number(s): JP19970119859; 19970509

Report a data error here

**Abstract of JP10304927**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an airtight cosmetic case which achieves a higher durability of a packing material while keeping the airtightness high within a cosmetic plate regardless of the accuracy of a hinge part of a lid body and a higher operability with a reduced operating force of an operation button. **SOLUTION:** A cosmetic plate 22 is fitted into an annular support part 20 protrusively arranged integral from the bottom surface 12c of the body 12 of a container. In a state where a lid body 16 is closed, a seal protrusion 24a of a packing material 24 is pressed onto the top surface of the cosmetic plate 22. A ring-shaped hook piece 28 is rotatably fitted freely on the outer circumference of the support part 20. A plurality of first engaging protrusions 30 are protrusively arranged on the outer circumference of the ring-shaped hook piece 28. Second engaging protrusions 32 are protrusively arranged at positions of the lid body 16 corresponding to the first engaging protrusions 30 through struts 32a. The second engaging protrusions 32 are engaged with the first engaging protrusions 30 in a state where the lid body 16 is fully closed. The ring-shaped hook piece 28 is provided with an operating part 34 and a plate spring 36 to apply an energizing force in the direction of returning it.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

特開平10-304927

(43) 公開日 平成10年(1998)11月17日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 4 5 D 33/00

識別記号

6 4 0

6 1 0

F I

A 4 5 D 33/00

6 4 0

6 1 0 F

6 1 0 J

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号

特願平9-119859

(22) 出願日

平成9年(1997)5月9日

(71) 出願人 000160223

吉田工業株式会社

東京都墨田区立花5丁目29番10号

(72) 発明者 袖原 幸知

東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内

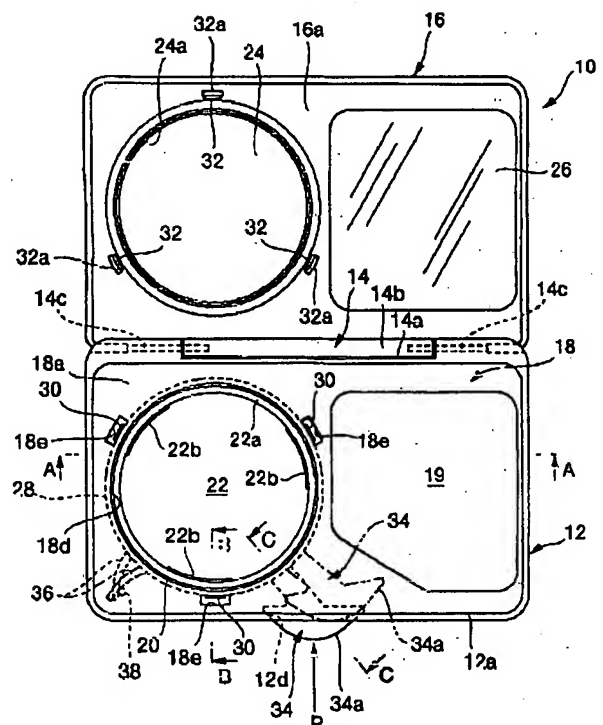
(74) 代理人 弁理士 一色 健輔 (外2名)

(54) 【発明の名称】 気密化粧料容器

(57) 【要約】

【課題】 蓋体の蝶着部分の精度に関係なく化粧皿内の気密性を高く保持しつつパッキン材の耐久性を向上し、かつ、操作ボタンの操作力を軽くして操作性を向上するようにした気密化粧料容器を提供する。

【解決手段】 容器本体12の底面12cから一体に突設した環状の支持部20に化粧皿22を嵌着する。蓋体16の閉止状態でパッキン材24のシール突起24aが化粧皿22上面に圧接する。支持部20の外周にリング状フックピース28を回転自在に嵌合する。リング状フックピース28の外周に複数の第1係合突起30を突設する。蓋体16の第1係合突起30に対応する位置に、支柱32aを介して第2係合突起32を突設する。蓋体16が完全に閉止された状態で、第2係合突起32が第1係合突起30に係合する。リング状フックピース28に操作部34と、戻し方向の付勢力を付与する板ばね36とを設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 化粧皿を設けた容器本体と、該容器本体に開閉自在に蝶着される蓋体とを備え、該蓋体の裏側に設けたパッキン材が該蓋体の閉止状態で該化粧皿の周縁部上面に圧接されて、該化粧皿の内方を気密状態に保持するようになった気密化粧料容器において、

上記容器本体から一体に上記化粧皿を取り付ける支持部を設ける一方、該支持部の外側に回転自在にリング状フックピースを設け、該リング状フックピースを一方に回転付勢する付勢手段を設けると共に、上記容器本体に形成した開口部から突設されて該リング状フックピースに該付勢手段の付勢力に抗して回転力を付与する操作部を設け、かつ、該リング状フックピースの外側周方向に適宜間隔をもって複数の第1係合突起を突設すると共に、上記蓋体にこれの閉止状態で該第1係合突起にそれぞれ係合される複数の第2係合突起を設けたことを特徴とする気密化粧料容器。

【請求項2】 化粧皿を設けた容器本体と、該容器本体に開閉自在に蝶着される蓋体と、該容器本体と該蓋体との間に配置され該容器本体に開閉自在に蝶着される中蓋とを備え、該中蓋の裏側に設けたパッキン材が該中蓋の閉止状態で該化粧皿の周縁部上面に圧接されて、該化粧皿の内方を気密状態に保持するようになった気密化粧料容器において、

上記容器本体から一体に上記化粧皿を取り付ける支持部を設ける一方、該支持部の外側に回転自在にリング状フックピースを設け、該リング状フックピースを一方に回転付勢する付勢手段を設けると共に、上記容器本体に形成した開口部から突設されて該リング状フックピースに該付勢手段の付勢力に抗して回転力を付与する操作部を設け、かつ、該リング状フックピースの外周に第1係合突起を設けると共に、上記蓋体にこれの閉止状態で該第1係合突起に係合される第2係合突起を設け、かつ、上記リング状フックピースの外側周方向に適宜間隔をもって複数の第3係合突起を突設すると共に、上記中蓋にこれの閉止状態で該第3係合突起にそれぞれ係合される複数の第4係合突起を設けたことを特徴とする気密化粧料容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯容易に化粧料を収納する気密化粧料容器に関し、とりわけ化粧皿を収納する容器本体に蓋体が開閉自在に蝶着され、蓋体の裏側に設けたパッキン材が化粧皿の周縁部上面に圧接されるようになった気密化粧料容器に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に、化粧料の携帯用にコンパクト等の化粧料容器が用いられるが、該化粧料容器は化粧料を詰めた化粧皿を容器本体に設けると共に、該容器本体の後端部に開閉自在に蓋体を蝶着し、該蓋体で容器本体上

側を覆うようになっている。そして、容器本体と蓋体との前端部間に設けられるフック機構で蓋体の閉止状態が保持され、かつ、該フック機構を解除するための操作部が容器本体の前端部から突出されるのが一般的な構造となっている。

【0003】ところで、この種の化粧料容器では化粧皿の気密性を保持するにあたって、例えば実公平6-2585号公報に開示されるように蓋体の裏側にパッキン材を設け、蓋体を閉止した際に該パッキン材が化粧皿の周縁部上面に圧接されるようになっている。しかしながら、かかる従来の気密化粧料容器にあっては、パッキン材による気密保持精度を高く維持するために、蓋体と容器本体との蝶着部分に高い精度が要求される。

【0004】そこで、蓋体の蝶着部分の精度に影響されことなく化粧皿内の気密性を十分に確保することができ、化粧料容器が、特開平8-191712号公報として本出願人により提案されている。即ち、該化粧料容器は、容器本体に回転自在に支持した回転枠に化粧皿を収納し、該回転枠および上記蓋体に互いに係合可能な係合突起を設けて、これら係合突起を介して回転枠の周縁部を蓋体に直接係止させるようになっている。このように回転枠と蓋体とを直接係止することにより、蓋体の蝶着部分に関係なくパッキン材と化粧皿の周縁部上面との気密精度を高く保持できる。また、上記回転枠には操作部としての操作ボタンを一体に設けると共に、当該回転枠に係合突起の係止方向に回転付勢する付勢手段を設けてあり、上記操作ボタンを操作して回転枠を付勢手段の付勢力に抗して回転することにより、該回転枠の係合突起と蓋体の係合突起との係合を離脱できるようになっている。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、かかる従来の気密化粧料容器にあっては、回転枠に化粧皿を収納する際、回転枠の内側面に突設したダボと、化粧皿の外側面に凹設した係合凹部とを互いに係合させる等して、これら回転枠と化粧皿とが一体に回転されるようになっている。このため、回転枠および蓋体に設けた係合突起の係合を離脱させるために、操作ボタンを操作して回転枠を回転する場合には、化粧皿も一緒に回転されることになる。すると、該化粧皿はこれの周縁部上面に圧接されているパッキン材と擦れつつ相対回転されるため、該パッキン材が損傷を受けやすくなってその耐久性が低下されてしまう。また、上記回転枠と共に回転する化粧皿には化粧料が詰められているため、これら化粧皿および化粧料によって回転部分の重量が増大される。このため、回転枠を回転する際には、上記化粧皿とパッキン材とが圧接状態で擦れるときの摺動抵抗と合わせて、上記操作ボタンの操作が著しく重くなり、延いては、蓋体の開動操作性が悪化してしまうという課題があった。

【0006】そこで、本発明はかかる従来の課題に鑑み

て、容器本体と蓋体の蝶着部分の精度に関係なく化粧皿内の気密性を高く保持しつつパッキン材の耐久性を向上し、かつ、操作ボタンの操作力を軽くして操作性を向上するようにした気密化粧料容器を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するために請求項1に示す本発明の気密化粧料容器は、化粧皿を設けた容器本体と、該容器本体に開閉自在に蝶着される蓋体とを備え、該蓋体の裏側に設けたパッキン材が該蓋体の閉止状態で該化粧皿の周縁部上面に圧接されて、該化粧皿の内方を気密状態に保持するようになった気密化粧料容器において、上記容器本体から一体に上記化粧皿を取り付ける支持部を設ける一方、該支持部の外側に回転自在にリング状フックピースを設け、該リング状フックピースを一方に回転付勢する付勢手段を設けると共に、上記容器本体に形成した開口部から突設されて該リング状フックピースに該付勢手段の付勢力に抗して回転力を付与する操作部を設け、かつ、該リング状フックピースの外側周方向に適宜間隔をもって複数の第1係合突起を突設すると共に、上記蓋体にこれの閉止状態で該第1係合突起にそれぞれ係合される複数の第2係合突起を設ける構成とする。

【0008】また、請求項2に示す本発明の気密化粧料容器は、化粧皿を設けた容器本体と、該容器本体に開閉自在に蝶着される蓋体と、該容器本体と該蓋体との間に配置され該容器本体に開閉自在に蝶着される中蓋とを備え、該中蓋の裏側に設けたパッキン材が該中蓋の閉止状態で該化粧皿の周縁部上面に圧接されて、該化粧皿の内方を気密状態に保持するようになった気密化粧料容器において、上記容器本体から一体に上記化粧皿を取り付ける支持部を設ける一方、該支持部の外側に回転自在にリング状フックピースを設け、該リング状フックピースを一方に回転付勢する付勢手段を設けると共に、上記容器本体に形成した開口部から突設されて該リング状フックピースに該付勢手段の付勢力に抗して回転力を付与する操作部を設け、かつ、該リング状フックピースの外周に第1係合突起を設けると共に、上記蓋体にこれの閉止状態で該第1係合突起に係合される第2係合突起を設け、かつ、上記リング状フックピースの外側周方向に適宜間隔をもって複数の第3係合突起を突設すると共に、上記中蓋にこれの閉止状態で該第3係合突起にそれぞれ係合される複数の第4係合突起を設ける構成とする。

【0009】以上の構成により本発明の気密化粧料容器の作用を以下述べると、請求項1では容器本体から一体に設けた支持部の外側にリング状フックピースが回転自在に設けられており、蓋体の閉止時には、該蓋体に設けた第2係合突起が上記リング状フックピースに設けた第1係合突起に係合することで蓋体の閉止状態が保持され、この閉止状態で上記支持部に取り付けた化粧皿の周

縁部上面に蓋体の裏側に設けたパッキン材が圧接して、該化粧皿内方が気密状態に保持される。

【0010】このとき、上記第1係合突起はリング状フックピースの外周に適宜間隔をもって複数の突起が突設され、それぞれの第1係合突起に上記第2係合突起に係合されることにより、これら複数の係合部分によってパッキン材が化粧皿に圧接される状態を保持することができる。従って、上記第1、第2係合突起の係合のみによって化粧皿の気密保持を行うことができるため、容器本体と蓋体との蝶着部分の精度が化粧皿の密閉に影響することはなく、該蝶着部分の構成および組付け作業を簡単化することができる。

【0011】そして、容器本体の開口部から突設する操作部を操作してリング状フックピースを付勢手段に抗して回転することにより、上記第1係合突起と上記第2係合突起との係合状態を離脱して蓋体を開動可能状態とし、この状態で蓋体を手で開けることにより化粧皿の開口部を開放することができる。

【0012】このとき、該化粧皿は容器本体から一体に設けた支持部に取り付けられる一方、上記リング状フックピースは該支持部の外側に回転自在に設けられるため、化粧皿は容器本体側に固定された状態でリング状フックピースのみが単独で回転されることになる。従って、蓋体を開動するために操作部を操作してリング状フックピースを回転する場合に、化粧皿とこれの周縁部上面に圧接する上記パッキン材との擦れを無くすことができ、延いては、該パッキン材が損傷されるのを防止してこの耐久性を向上することができる。

【0013】また、化粧皿とパッキン材との相対回転による摺動抵抗が無くなると共に、リング状フックピースの回転に化粧皿が伴わないことから回転部分を軽量化できるため、操作部の操作力を大幅に低減して蓋体の開動操作性を著しく向上することができる。

【0014】また、請求項2では、中蓋を設けた気密化粧料容器に本発明を適用したもので、該中蓋の裏側に化粧皿の周縁部上面に圧接されるパッキン材が設けられるようになっている。該気密化粧料容器では、リング状フックピースの外周に設けた第1係合突起と、蓋体に設けた第2係合突起との係合状態で、該蓋体の閉止状態が保持されると共に、上記リング状フックピースの外周に設けた複数の第3係合突起と、上記中蓋に設けた複数の第4係合突起との係合状態で、該中蓋の閉止状態が保持される。そして、蓋体および中蓋の閉止状態から操作部を操作してリング状フックピースを付勢手段の付勢力に抗して回転することにより、第1係合突起と第2係合突起との係合、および第3係合突起と第4係合突起との係合がそれぞれ離脱されて、蓋体および中蓋を開動可能状態とすることができる。上記中蓋の閉止状態では、上記支持部に取り付けた化粧皿の内方が中蓋の裏側に設けたパッキン材により気密状態に保持される。

【0015】このとき、上記第3係合突起はリング状フックピースの外周に適宜間隔をもって複数が突設され、それぞれの第3係合突起に中蓋に設けた上記第4係合突起に係合されるため、これら第3、第4係合突起の係合のみによって化粧皿の気密保持を行うことができる。従って、中蓋や蓋体の蝶着部分の精度が化粧皿の密閉に影響することなく、該蝶着部分の構成および組付け作業を簡単化することができる。

【0016】また、上記化粧皿は容器本体から一体に設けた支持部に取り付けられ、かつ、上記リング状フックピースは該支持部の外側に回転自在に設けられるため、上記請求項1の構成と同様にリング状フックピースは単独で回転されることになる。従って、化粧皿と中蓋に設けた上記パッキン材との擦れを無くして、該パッキン材の耐久性を向上することができると共に、化粧皿とパッキン材との摺動抵抗を無くし、かつ、リング状フックピースの回転に伴う回転部分を軽量化できるため、操作部の操作力を大幅に低減して蓋体の開動操作性を著しく向上することができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態を添付図面を参照して詳細に説明する。図1から図5は本発明の気密化粧料容器の第1実施形態を示し、図1は蓋体を半開した状態の斜視図、図2は蓋体を全開した状態の平面図、図3は図2中A-A線に対応する蓋体を閉止した状態の断面図、図4は図2中B-B線に対応する蓋体を閉止した状態の要部拡大断面図、図5は図2中C-C線に対応する蓋体を閉止した状態の要部拡大断面図である。

【0018】図1、図2に示すように本実施形態の気密化粧料容器10は、容器本体12と、該容器本体12の後端部に蝶番14を介して蝶着される蓋体16とを備える。容器本体12は周縁部が側壁12aによって囲まれた皿状を成しており、該側壁12a内には容器本体12の上側を覆うようにして中枠18が嵌着される。蝶番14は容器本体12の後端部中央に形成される凹部14aに、蓋体16の後端部中央に形成される凸部14bが嵌合され、これら凹部14aと凸部14bとに跨がって両側から蝶番ピン14cを挿入することにより構成される。中枠18は容器本体12の上面を覆う被覆板18aと、容器本体12の側壁12aの内周に嵌合される周壁18bとを備え、図3に示すように該周壁18bの外周には凸条18cが形成される。そして、上記被覆板18aの周縁部が上記側壁12aの上端に載置されると共に、上記凸条18cが上記側壁12aの内周に形成された凹条12bに係合されることにより、中枠18が容器本体12に抜け止めされた状態で固定される。

【0019】上記容器本体12の中心部から左側に片寄った位置に、該容器本体12の底面12cから一体に環状の支持部20が突設され、該支持部20に化粧料を詰め込むための化粧皿22が収納される。該支持部20は

円形の筒状として形成される一方、上記化粧皿22は周縁部に幅狭のフランジ22aを形成した深皿状に形成される。そして、支持部20の内側に化粧皿22が密接嵌合されるが、このとき、化粧皿22の外周に形成した凹部22bを、支持部20の内周に形成したダボ20aに係合して化粧皿22が抜け止めされる。また、上記支持部20の上端には化粧皿22のフランジ22aに係合する環状の段差部20bが形成され、該段差部20bに該フランジ22aが嵌合されることにより、該フランジ22aと支持部20の上端とが面一に構成される。

【0020】上記中枠18の被覆板18aには、上記支持部20の上端部を嵌合する円形開口部18dが形成されると共に、該円形開口部18dに並設されて右側に片寄った位置に化粧具収納部19が凹設される。また、上記円形開口部18dの周縁部には、周方向に等間隔をもって配置されて正三角形の各頂点を構成するように小開口部18eが3箇所形成されると共に、これら小開口部18eは後述する第2係合突起32および支柱32aが挿入可能な大きさに形成される。一方、上記蓋体16の裏側16aには、上記化粧皿22に対応する位置に環状凹部16bが凹設され、該環状凹部16bにパッキン材24が嵌着されると共に、上記化粧具収納部19に対応する位置に矩形状凹部16cが凹設され、該矩形状凹部16cに化粧鏡26が嵌着される。上記パッキン材24の周縁部には連続した環状のシール突起24aが形成され、蓋体16の閉止状態で該シール突起24aの先端部が上記化粧皿22のフランジ22a上面に圧接されるようになっている。

【0021】筒状に形成された上記支持部20の外周には、リング状フックピース28が回転自在に密接嵌合される。該リング状フックピース28の外周には、上記中枠18に形成した小開口部18eの形成位置に対応して3個の第1係合突起30が周方向に等間隔に突設される。一方、上記蓋体16の裏側16aには、上記パッキン材24を囲うようにして上記第1係合突起30にそれぞれ対応する位置に3本の支柱32aを突設し、これら支柱32aの先端部にはパッキン材24を指向する側にそれぞれ第2係合突起32が突設される。そして、上記支柱32aは蓋体16の閉止時に上記小開口部18eから挿入され、図4に示すように該蓋体16が完全に閉止された状態で、第2係合突起32は第1係合突起30を乗り越えて互いに係合される。

【0022】また、図2に示すように上記リング状フックピース28の外側には、前方右側から容器本体12の前面中央部に向かって傾斜する操作部34が一体に突設される。該操作部34の先端部には弧状部分34aが形成され、図5に示すように該弧状部分34aを容器本体12の側壁12a前面の中央部に形成した開口部12dから外方に突出させてある。このとき、上記開口部12dに位置する上記中枠18の周壁18bには、該開口部

12dの形状に沿った切欠き部18fが形成されている。更に、上記リング状フックピース28の外側には、前方左側に付勢手段としての板ばね36が一体に突設され、該板ばね36の先端部右側を容器本体12から突設した係止ピン38に係止させてある。この状態で、上記リング状フックピース28の図2中反時計回り方向の回転に対して、該リング状フックピース28に戻し方向（図中時計回り方向）の回転付勢力を付与するようになっている。

【0023】以上の構成により本実施形態の気密化粧料容器10は、図2に示すようにリング状フックピース28は、自然状態では同図中破線に示すように板ばね36により図中時計回り方向に戻された初期位置にあり、該リング状フックピース28から突設する操作部34は、先端の弧状部分34aが容器本体12の開口部12dから突設されている。また、リング状フックピース28の上記初期位置では、中枠18の小開口部18eの直下に第1係合突起30が位置している。そして、蓋体16が閉止された状態では第2係合突起32が第1係合突起30に係合して、該蓋体16の閉止状態が保持されると共に、パッキン材24のシール突起24aが化粧皿22のフランジ22a上面に圧接されて、該化粧皿22の内方が気密状態に密閉保持される。

【0024】次に、閉止状態にある上記蓋体16を開放する際には、操作部34の弧状部分34aを容器本体12内方に向かって押すことにより、該操作部34は押圧方向P（図2参照）に対して傾斜されているため、リング状フックピース28は板ばね36の付勢力に抗して反時計回り方向に回転する。すると、上記リング状フックピース28に伴って第1係合突起30が同方向に移動して第2係合突起32との係合状態が離脱され、この状態で蓋体16を手動で押し開けることができる。このとき、化粧皿22のフランジ22aに圧接していたシール突起24aのスプリングバックにより蓋体16が若干開かれるため、蓋体16の開動が容易になる。そして、蓋体16を開いた後に上記弧状部分34aから手を放してこの押圧を解除することにより、リング状フックピース28は板ばね36の付勢力で時計回り方向に回転して初期位置に復帰される。この状態で蓋体16を手動で閉止することにより、蓋体16に設けた支柱32aが中枠18の小開口部18eから挿入され、該支柱32a先端部の第2係合突起32が上記第1係合突起30に係合される。

【0025】ここで、上記蓋体16の閉止状態は上記第1係合突起30と第2係合突起32との係合によって保持されるが、第1係合突起30が化粧皿22の周縁部を取り囲むように等間隔に3箇所配置されている。従って、3箇所配置された上記第1、第2係合突起30、32の係合のみによって、パッキン材24が化粧皿22に圧接された状態を保持して気密性を保持することができ

る。特に、本実施形態では、第1係合突起30が等間隔に配置されるため、パッキン材24を化粧皿18の全周に略均等に圧接させることができる。このため、蓋体16を容器本体12に開閉自在に取り付ける蝶番14の精度が、上記化粧皿18の気密保持に影響されなくなり、延いては、該蝶番14に高い精度が要求されなくなつて、蝶番14部分の構成および組付け作業を簡単化することができる。

【0026】ところで、上記化粧皿22は容器本体12から一体に設けた支持部20に収納され、かつ、上記リング状フックピース28は該支持部20の外側に回転自在に設けられるため、化粧皿22は容器本体12側に固定された状態でリング状フックピース28のみが単独で回転されることになる。従って、蓋体16を開動するために操作部34を操作してリング状フックピース28を回転した場合にも、化粧皿22は定位置で静止されて該化粧皿22と、これのフランジ22aに圧接されたパッキン材24との相対回転を防止することができる。このため、これら化粧皿22とパッキン材24との回転方向の擦れを無くすことができ、延いては、該パッキン材24のシール突起24aが損傷されるのを防止して、該パッキン材24の耐久性を向上することができる。

【0027】また、このように蓋体16の開動操作時に、化粧皿22とパッキン材24との相対回転が防止されることにより、これら化粧皿22とパッキン材24との間に摺動抵抗が発生しないと共に、リング状フックピース28は化粧料を詰めた化粧皿22を伴わずに単独で回転されるため、リング状フックピース28の回転に伴う回転部分を軽量化することができる。従って、蓋体16を開放するときの操作部34の操作力が大幅に低減され、延いては蓋体16の開動操作性を著しく向上することができる。

【0028】本実施形態にあつては上記リング状フックピース28の外周に3個の第1係合突起30を形成した場合を開示したが、この3個に限ることなく複数個の第1係合突起30をリング状フックピース28の外周に等間隔に形成すればよい。勿論、該第1係合突起30の数および位置に応じて、第2係合突起32および小開口部18eの数および位置が設定される。

【0029】図6から図9は本発明の第2実施形態を示し、図6は蓋体を半開した状態の斜視図、図7は蓋体を全開した状態の平面図、図8は作動状態を示す図7に対応する平面図、図9は蓋体を閉止した状態の中央断面図である。この実施形態では化粧具収納部を廃止して化粧皿22を容器本体12の中央部に配置すると共に、操作部をリング状フックピース28から分離して別体として構成した点が上記実施形態と主に異なり、本実施形態は上記第1実施形態と同一構成部分に同一符号を付して重複する説明を省略して述べる。

【0030】即ち、この実施形態の気密化粧料容器10



aは、図6、図7に示すように化粧皿22を取り付ける支持部20を容器本体12の中央部に一体に設け、該支持部20の上端部を中枠18の円形開口部18dに嵌合してある。そして、上記支持部20の外側に回転自在に設けたリング状フックピース28の外周には、上記実施形態と同様に3個の第1係合突起30が周方向に等間隔に突設される。また、上記支持部20に嵌合支持された上記化粧皿22のフランジ22a上面には、蓋体16の裏側16aに設けたパッキン材24のシール突起24aが、該蓋体16の閉止状態で圧接される。蓋体16の閉止状態では、蓋体16に支柱32aを介して設けられた第2係合突起32が、上記中枠18の小開口部18eから挿入されて上記第1係合突起30にそれぞれ係合される。そして、上記リング状フックピース28は、これから一体に突設される板ばね36によって図中時計回り方向の付勢力が付与される。

【0031】上記リング状フックピース28の外周には、これが図7に示す初期位置にある状態で前方（図中下方）側に、一対の傾斜片40、42が周方向に所定間隔を設けて突設され、これら傾斜片40、42を操作部としてのプッシュピース44で押圧することにより、リング状フックピース28を反時計回り方向に回転させるようになっている。上記傾斜片40、42はそれぞれの図中左側に斜面40a、42aが形成され、これら斜面40a、42aを上記プッシュピース44で押圧するようになっている。該プッシュピース44は容器本体12の内方に二股となるコ字状に形成され、その中央部外側に形成された弧状部分44aが、容器本体12の側壁12a前面に形成した開口部12dから外方に突出されると共に、二股状両端部44b、44cは上記斜面40a、42aに当接される。また、図9に示すように上記プッシュピース44の中央部下側には係止部44dが後方に突出され、該係止部44dが容器本体12の底面12cに形成した凹部12eに係合されることにより、該プッシュピース44の抜け止めが行われる。

【0032】従って、この第2実施形態にあつては図7に示すように蓋体16を開放してプッシュピース44から手を離れた自然状態では、リング状フックピース28が板ばね36の付勢力で初期位置に設定されており、第1係合突起30は中枠18の被覆板18aに形成した小開口部18eの直下に位置している。この状態で蓋体16を閉止することにより、該蓋体16から支柱32aを介して突設された第2係合突起32は、上記小開口部18eから挿入されて上記第1係合突起30に係合される。この係合状態で図9に示すように蓋体16の閉止状態が保持され、この閉止状態で蓋体16の裏側16aのパッキン材24のシール突起24aが化粧皿22のフランジ22a上面に圧接されて、該化粧皿22内の気密状態が保持される。このとき、上記第1、第2係合突起30、32の係合部は、上記化粧皿22の周縁部に等間隔

に複数（3箇所）配置されているため、蓋体16の蝶番14の精度にかかわらず上記パッキン材24の圧接力を保持することができる。

【0033】そして、閉止状態にある上記蓋体16を開放する際には、図8に示すようにプッシュピース44が容器本体12から突出する弧状部分44aを押し込むことにより、該プッシュピース44は全体的に後方（容器本体12内方）に移動して二股状両端部44b、44cが、リング状フックピース28から突出する傾斜片40、42の斜面40a、42aを押圧する。すると、上記傾斜片40、42は図中右方に逃げて、リング状フックピース20が板ばね36の付勢力に抗して反時計回り方向に回転され、これによって第1係合突起30と第2係合突起32の係合状態が離脱されるため、蓋体16を手動で開けることができる。そして、蓋体16を開放した後にプッシュピース44の押圧を解除することにより、リング状フックピース28は板ばね36の付勢力で時計回り方向に回転して図7に示した初期位置に復帰されると共に、上記傾斜片40、42の斜面40a、42aでプッシュピース44を押し出して、弧状部分44aは容器本体12から突出した初期状態に戻される。

【0034】従って、この実施形態にあつても容器本体12に一体に設けられた支持部20に化粧皿22を取り付け、かつ、該支持部20の外側にリング状フックピース28を回転自在に設けてあるため、プッシュピース44を操作して蓋体16を開ける際にはリング状フックピース28のみが単独で回転する。このため、化粧皿22とパッキン材24との相対回転がなくなって、該パッキン材24の耐久性を向上できると共に、この相対回転がなくなることによりパッキン材24との間に摺動抵抗が発生するのを防止し、かつ、リング状フックピース20の回転に伴う回転部分が軽量化されて、プッシュピース44の操作性を向上することができる。

【0035】図10、図11は本発明の第3実施形態を示し、図10は蓋体および中蓋を全開した状態の平面図、図11は蓋体および中蓋を閉止した状態の中央断面図である。この実施形態では上記第2実施形態の気密化粧料容器に中蓋を追加し、該中蓋によって化粧皿22を気密に閉止した点が上記実施形態と主に異なり、本実施形態を上記第1、第2実施形態と同一構成部分に同一符号を付して重複する説明を省略して述べる。

【0036】即ち、この実施形態の気密化粧料容器10bは、容器本体12の後方端部に蝶番14を介して蓋体16が開閉自在に蝶着されると共に、容器本体12に嵌着された中枠18の被覆板18aの左方端部に、副蝶番50を介して中蓋52が開閉自在に蝶着される。副蝶番50は中蓋52の左端部中央から突設される凸部50aが、上記被覆板18aから対峙して突設される一対の軸受部50b間に嵌合されると共に、凸部50aの両側に突設されるピン50cが、両側の軸受部50bに挿入さ

れることにより構成される。また、容器本体12の底面12cの中央部には筒状の支持部20が一体に突設され、該支持部20に化粧皿22が嵌着されると共に、該支持部20の外周にリング状フックピース28が回転自在に取り付けられる。上記中蓋52の裏側52aに、上記化粧皿22を覆うようにパッキン材24が嵌着される。該パッキン材24には化粧皿22の周縁部に対応する位置に同心円状の二重シール突起24bが突設され、中蓋52の閉止状態で該二重シール突起24bが化粧皿22のフランジ22a上面に圧接されて、該化粧皿22内が気密状態に保持される。

【0037】上記リング状フックピース28の外周には、前方部分に1個の第1係合突起30が突設されると共に、該第1係合突起30の形成位置を避けて周方向に等間隔に3箇の第3係合突起54が突設される。そして、容器本体12の上面を覆う上記中枠18の被覆板18aには、上記第1係合突起30および上記第3係合突起54に対応する位置にそれぞれ小開口部18eが形成される。一方、上記蓋体16の裏側16aの前方部分には、上記第1係合突起30に対応した位置に支柱32aを介して第2係合突起32が突設されると共に、上記中蓋52の裏側52aには、上記パッキン材24の周縁部で上記第3係合突起54に対応した位置に支柱56aを介して第4係合突起56が突設される。また、上記リング状フックピース28の後方右側には、該リング状フックピース20に時計回り方向の付勢力を付与するための板ばね36が突設され、該板ばね36の先端部は容器本体12から突設されるピン38に係止される。

【0038】また、上記リング状フックピース28の外周の前方には、上記第2実施形態と同様に一對の傾斜片40、42が第1係合突起30を挟んで対峙して突設されると共に、コ字状のプッシュピース44の二股状両端部44b、44cが傾斜片40、42の斜面40a、42aに当接され、該プッシュピース44の弧状部分44aが容器本体12の開口部12dから外方に突出されている。この実施形態では蓋体16および中蓋52の閉止状態では、これら蓋体16と中蓋52との間にバフ58を収納するスペースSが設けられている。

【0039】従って、この第3実施形態にあつては図10に示すように蓋体16を開放してプッシュピース44から手を離れた自然状態では、リング状フックピース28が板ばね36の付勢力で初期位置となっており、第1係合突起30および第3係合突起54は、中枠18の被覆板18aにそれぞれ対応して形成した小開口部18eの直下に位置している。この状態でまず中蓋52を閉止することにより、該中蓋52から支柱56aを介して突設された第4係合突起56は、上記小開口部18eから挿入されて上記第3係合突起54に係合される。次に、蓋体16を閉止することにより、該蓋体16から支柱32aを介して突設された第2係合突起32は、上記小開

口部18eから挿入されて上記第1係合突起30に係合される。このように第3係合突起54と第4係合突起56および第1係合突起30と第2係合突起32がそれぞれ係合された状態で、図11に示すように中蓋52および蓋体16の閉止状態が保持される。そして、上記中蓋52が閉止されることにより、該中蓋52の裏側52aに設けたパッキン材24の二重シール突起24bが、化粧皿22のフランジ22a上面に圧接されて、該化粧皿22内の気密状態が保持される。このとき、上記第3、第4係合突起54、56の係合部は、上記化粧皿22の周縁部に複数(3箇所)配置されているため、副蝶番50や蝶番14の精度にかかわらず上記パッキン材24の圧接力を保持することができる。

【0040】そして、閉止状態にある上記蓋体16および上記中蓋52を開放する際には、容器本体12から突出するプッシュピース44の弧状部分44aを押し込むことにより、該プッシュピース44は後方に移動して二股状両端部44b、44cで傾斜片40、42の斜面40a、42aを押圧して、リング状フックピース28を板ばね36の付勢力に抗して反時計回り方向に回転させる。すると、リング状フックピース28に形成した第1係合突起30および第3係合突起54は移動して、第2係合突起32および第4係合突起56との係合状態が離脱され、蓋体16および中蓋52が開動可能状態となり、この状態でまず蓋体16を手で開いた後、次に中蓋52を手で開けることができる。このとき、化粧皿22のフランジ22aに圧接していた二重シール突起24bのスプリングバックが作用して、中蓋52の開動が容易になる。そして、上記蓋体16および上記中蓋52を開いた後にプッシュピース44の押圧を解除することにより、リング状フックピース28は板ばね36の付勢力で時計回り方向に回転して図10に示した初期位置に復帰されると共に、上記傾斜片40、42の斜面40a、42aでプッシュピース44を押し出して、弧状部分44aは容器本体12から突出した初期状態に戻される。

【0041】この実施形態にあつても、容器本体12に一体に設けられた支持部20に化粧皿22を取り付け、かつ、該支持部20の外側にリング状フックピース28を回転自在に設けてあるため、リング状フックピース28のみが単独で回転し、化粧皿22とパッキン材24との相対回転がなくなつて該パッキン材24の耐久性を向上できると共に、この相対回転がなくなることによりパッキン材24との摺動抵抗が発生せず、かつ、リング状フックピース28の回転に伴う回転部分が軽量化されてプッシュピース44の操作性を著しく向上することができる。

【0042】図12、図13は操作部の他の実施形態を示し、図12は操作部を示す要部平面図、図13は操作部の作動状態を示す要部平面図で、この実施形態を上記各実施形態と同一構成部分に同一符号を付して重複する



説明を省略して述べる。

【0043】即ち、この実施形態では上記第2、第3実施形態と同様に、操作部としてリング状フックピース28から分離されたプッシュピース60を用いたもので、図12に示すように該プッシュピース60は、容器本体12の側壁12a前面に形成された開口部12dから外方に突出する操作板60aと、該操作板60aの左端部から一体に突出されて、容器本体12の底面12cにピン62を介して回動可能に枢支される支持片60bと、上記操作板60aの右端部から屈曲部60cを介して折り曲げ可能に突出される押圧片60dとを備えて構成される。一方、リング状フックピース28には上記押圧片60dの先端部を係止する係止板28aが突設され、該リング状フックピース28の初期位置では図12に示すように上記操作片60aは、これの前面が容器本体12の前面と平行となるように開口部12dから突出され、かつ、上記押圧片60dは先端部が右方に傾斜された状態で、該先端部が上記係止板28aに当接される。

【0044】そして、図外の蓋体または蓋体および中蓋を開放する際には、上記プッシュピース60の操作片60aを押圧することにより、該操作片60aは図13に示すように、支持片60bを枢支するピン62を中心に反時計回り方向に回動されると共に、押圧片60dは屈曲部60cが開かれつつ先端部で係止板28aを押圧し、これによってリング状フックピース28は板ばね36の付勢力に抗して反時計回り方向に回転される。このリング状フックピース28の回転状態で図外の蓋体または蓋体および中蓋は上記各実施形態に示したように開動可能状態となり、これら蓋体または中蓋を開いた後に上記操作片60aの押圧を解除することにより、上記板ばね36の付勢力でリング状フックピース28は時計回り方向に回転して初期位置に復帰されると共に、係止板28aで押圧片60dを押し戻して、操作片60aの前面が容器本体12の前面と平行となるように該操作片60aを外方に突出させた初期状態になる。

【0045】従って、この実施形態のプッシュピース60は、操作片60aを力点、支持片60bのピン62を支点、押圧片60dの先端部を作用点とした「てこの原理」により、操作片60aに入力する押圧力を増大してリング状フックピース28に伝達することができるため、蓋体または中蓋を開ける際の操作力をより小さくして操作部の操作性を更に向上することができる。勿論、この実施形態のプッシュピース60を、上記各実施形態の気密化粧料容器10、10a、10bに用いても良いことはいうまでもない。

【0046】

【発明の効果】以上説明したように本発明の請求項1に示す気密化粧料容器にあっては、蓋体に設けた第2係合突起がリング状フックピースに設けた第1係合突起に係合することで蓋体の閉止状態が保持され、この閉止状態

で蓋体に設けたパッキン材が支持部に取り付けた化粧皿の周縁部上面に圧接して該化粧皿を気密状態に保持することができる。

【0047】また、上記第1係合突起はリング状フックピースの外周に適宜間隔をもって複数の突起が設けられているため、第1係合突起と上記第2係合突起との複数の係合部分によって、パッキン材が化粧皿に圧接される状態を保持することができる。従って、容器本体と蓋体との蝶着部分の精度が化粧皿の密閉に影響することがなく、該蝶着部分の構成および組付け作業を簡単化することができる。

【0048】更に、上記リング状フックピースは容器本体から一体に設けた支持部の外側に回転自在に設けられるため、蓋体を開動するために操作部を操作して該リング状フックピースを回転する場合に、上記支持部に取り付けた化粧皿の回転を伴うことなく該リング状フックピースのみを単独で回転させることができる。従って、化粧皿は固定された状態でリング状フックピースのみが回転されるため、該化粧皿とこれの周縁部上面に圧接する上記パッキン材との擦れを無くすことができ、延いては、該パッキン材が損傷されるのを防止してこれの耐久性を向上することができる。

【0049】また、化粧皿とパッキン材との相対回転による摺動抵抗が無くなると共に、リング状フックピースの回転に化粧皿が伴わずに回転部分を軽量化できるため、操作部の操作力を大幅に低減して蓋体の開動操作性を著しく向上することができる。

【0050】また、本発明の請求項2に示す気密化粧料容器にあっては、中蓋を設けた気密化粧料容器に本発明を適用したもので、リング状フックピースの外周に設けた第1係合突起と、蓋体に設けた第2係合突起との係合状態で該蓋体の閉止状態を保持できると共に、上記リング状フックピースの外周に設けた複数の第3係合突起と、上記中蓋に設けた複数の第4係合突起との係合状態で該中蓋の閉止状態を保持することができる。そして、該中蓋の閉止状態で、中蓋の裏側に設けたパッキン材が、支持部に取り付けた化粧皿の周縁部上面に圧接されて、該化粧皿内の気密状態を保持することができる。

【0051】このとき、上記第3係合突起はリング状フックピースの外周に適宜間隔をもって複数の突起が設けられ、それぞれの第3係合突起と上記第4係合突起との係合のみによって上記パッキン材の圧接状態を保持できる。このため、中蓋を設けた場合にあっては中蓋や蓋体の蝶着部分の精度に影響されことなく化粧皿の気密保持を行うことができ、該蝶着部分の構成および組付け作業を簡単化することができる。

【0052】また、上記リング状フックピースは容器本体から一体に設けた支持部の外側に回転自在に設けられるため、操作部を操作して該リング状フックピースを回転する場合に、該リング状フックピースは該支持部に取

り付けられた化粧皿の回転を伴うことなく単独で回転されることになる。従って、化粧皿と中蓋に設けた上記パッキン材との擦れを無くして、該パッキン材の耐久性を向上することができると共に、化粧皿とパッキン材との摺動抵抗を無くし、かつ、リング状フックピースの回転に伴う回転部分を軽量化できることにより、操作部の操作力を大幅に低減して、蓋体の開動操作性を著しく向上することができるという各種優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施形態を示す蓋体を半開した状態の斜視図である。

【図2】本発明の第1実施形態を示す蓋体を全開した状態の平面図である。

【図3】図2中A-A線に対応する蓋体を閉止した状態の断面図である。

【図4】図2中B-B線に対応する蓋体を閉止した状態の要部拡大断面図である。

【図5】図2中C-C線に対応する蓋体を閉止した状態の要部拡大断面図である。

【図6】本発明の第2実施形態を示す蓋体を半開した状態の斜視図である。

【図7】本発明の第2実施形態を示す蓋体を全開した状態の平面図である。

【図8】本発明の第2実施形態の作動状態を示す図7に対応する平面図である。

【図9】本発明の第2実施形態の蓋体を閉止した状態の中央断面図である。

【図10】本発明の第3実施形態を示す蓋体および中蓋を全開した状態の平面図である。

【図11】本発明の第3実施形態を示す蓋体および中蓋を閉止した状態の中央断面図である。

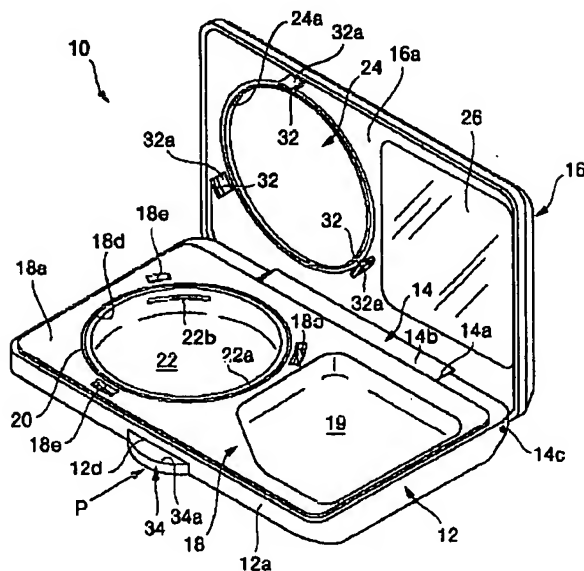
【図12】本発明に用いられる操作部の他の実施形態を示す要部平面図である。

【図13】本発明に用いられる操作部の他の実施形態を示す作動状態の要部平面図である。

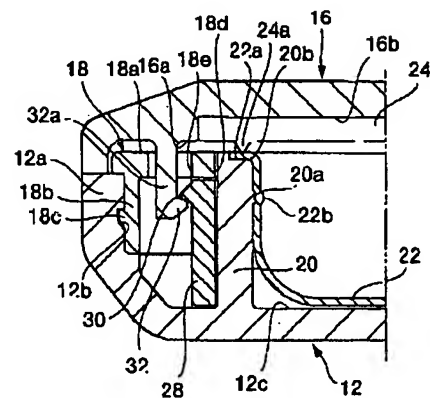
【符号の説明】

- 10, 10a, 10b 気密化粧料容器
- 12 容器本体
- 14 蝶番
- 16 蓋体
- 20 支持部
- 22 化粧皿
- 24 パッキン材
- 28 リング状フックピース
- 30 第1係合突起
- 32 第2係合突起
- 34 操作部
- 36 板ばね
- 44, 60 プッシュピース
- 50 副蝶番
- 52 中蓋
- 54 第3係合突起
- 56 第4係合突起

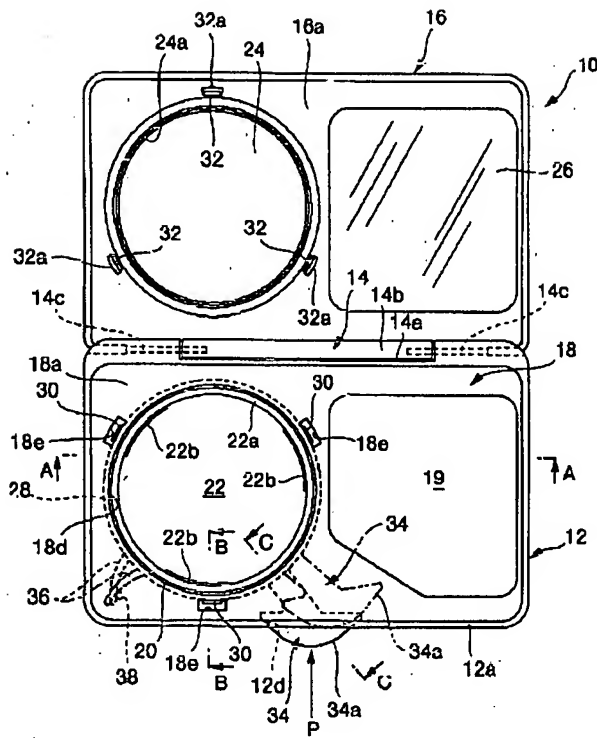
【図1】



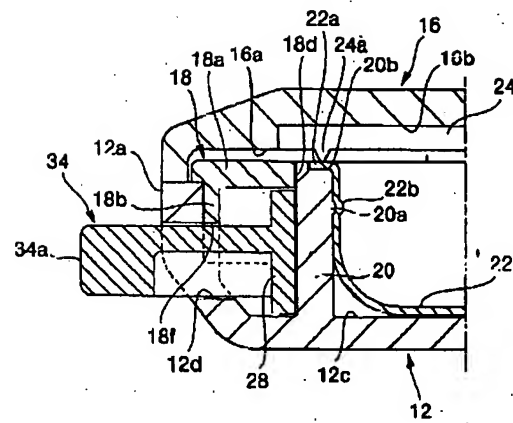
【図4】



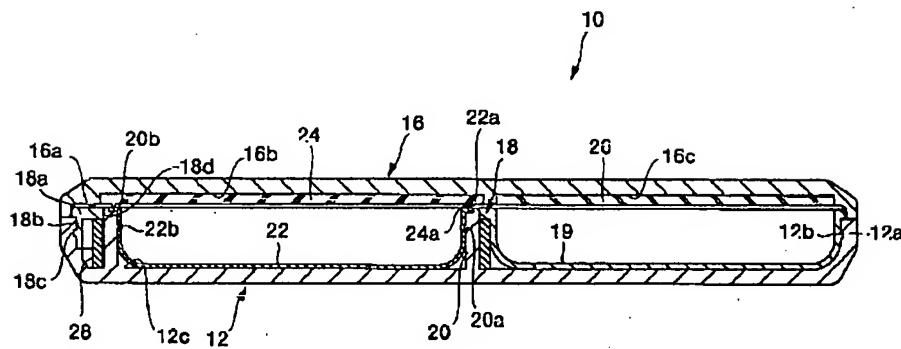
【図2】



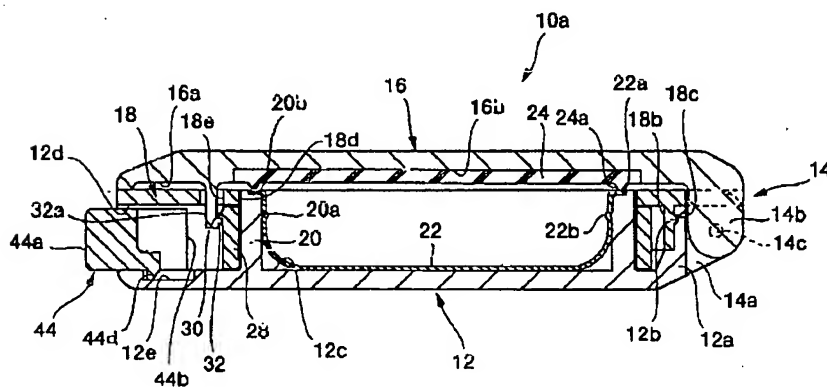
【図5】



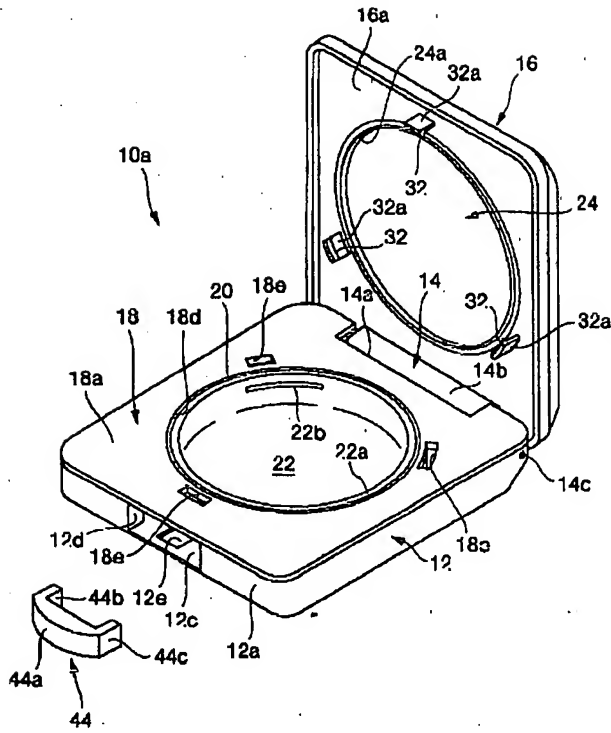
【図3】



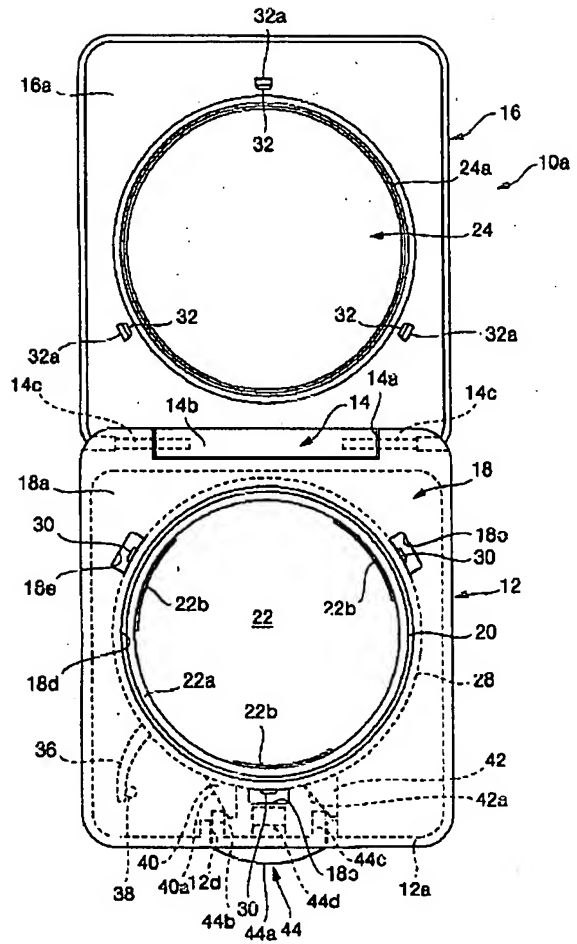
【図9】



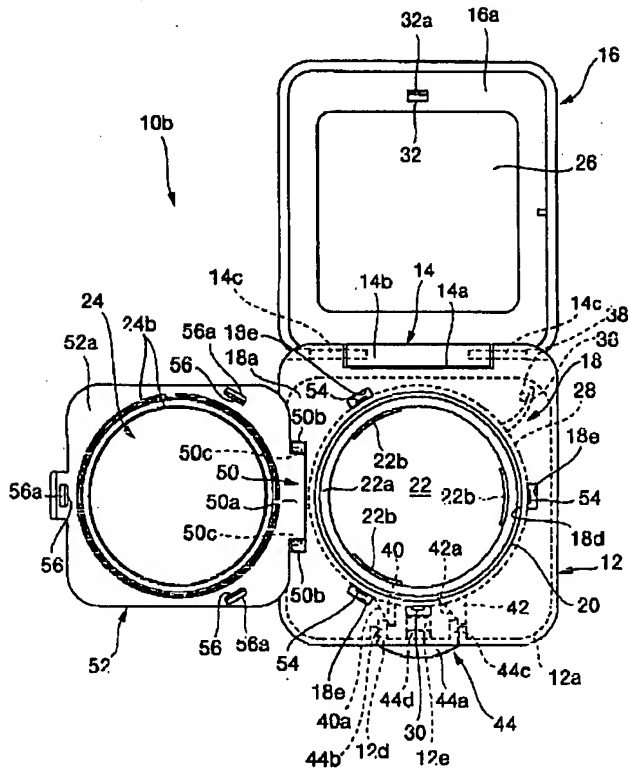
【図6】



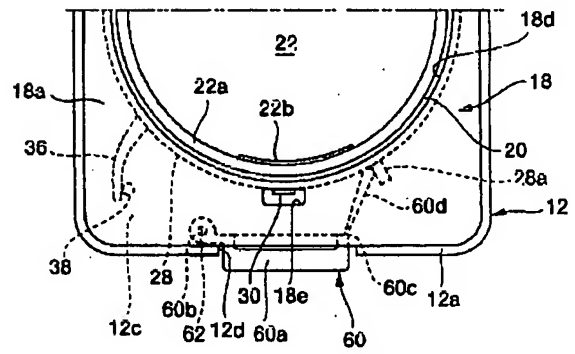
【図7】



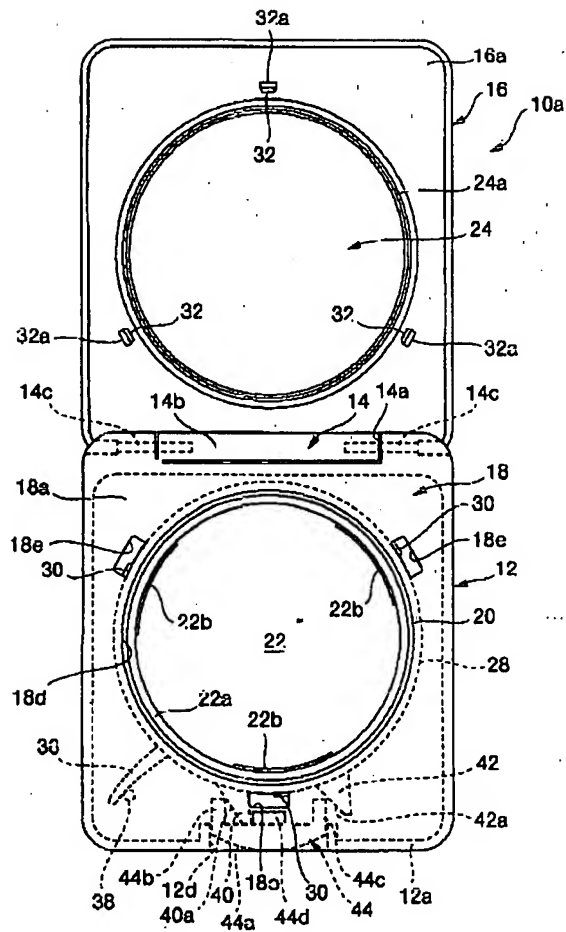
【図10】



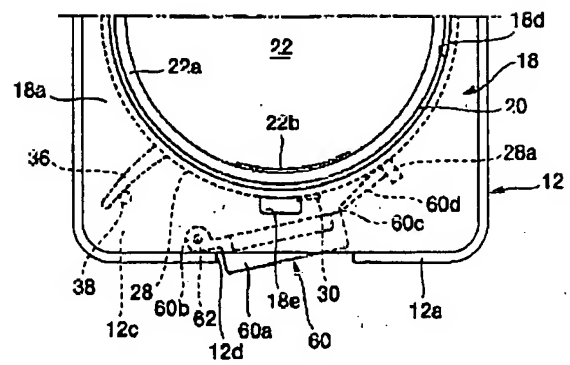
【図12】



【図8】



【図13】



【図11】

